あすなろ

連絡先：電機労働者懇談会気付　沖電気の職場を明るくする会
東京都品川区二葉 2-20-8　染野ビル２Ｆ　電話 03（6421）5323
ホームページ　沖電気の職場を明るくする会　検索→

スノードロップ

花言葉：希望

「ＥＭＳ本庄・富岡工場の生産会社化と750人超の転籍問題アンケート」にご協力をお願いします。

携帯は右のＱＲコードで。沖電気の職場を明るくする会ホームページからもアンケートができます。

コロナ禍でこそ、内部留保金の活用で賃上げと雇用の確保を

生活は大打撃

コロナ禍は、特に非正規雇用・フリーランス・女性・若者に大打撃となり、貧困と格差を広げ、日本の経済社会の脆弱（ぜいじゃく）性を改めて浮き彫りにしました。インバウンド・海外頼みでなく、個人消費と国内需要を基盤に置く、バランスの取れた経済社会への転換が必要です。

経団連は春闘方針「経営労働政策特別委員会報告」で、在宅テレワークの広がりに乗じて労働時間の管理をやめ、もっぱら「成果」で評価して長時間・過密労働を強制することを狙います。長期雇用を前提としない「ジョブ型雇用制度」の導入で、「成果主義」「解雇自由」を本格的に持ち込もうとしています。

８時間働けばまともに暮らせる社会を

賃上げに背を向ける経団連に対して、全労連・国民春闘共闘委員会は、コロナ禍だからこそ内部留保を還元するよう求め、大幅賃上げ、全国一律最低賃金１５００円の実現、雇用の確保を要求しています。「８時間働けばまともに暮らせる社会」を実現することは、危機に強い経済社会をつくる上でも差し迫った国民的な課題です。

ＯＫＩ連結、内部留保金一人あたり７３２万円

１９年度も大企業は内部留保金（隠し利益）を増加させ過去最高を更新（２面参照）。

ＯＫＩも本体で一人当たり７３２万円と従業員の平均年収（７１６万円）を初めて上回りました。（図Ａ）

労働者の犠牲と大企業優遇策でためこんだ内部留保の従業員への還元が不可欠です。

ひとりの「しかたない」から、みんなで「変える」

２０２１年国民春闘は、「ひとりの『しかたない』からみんなで『変える』」が合言葉となっています。賃下げ・雇用破壊・労働強化を許さないたたかいを共に進めていきましょう。

いきなりの転籍はひどすぎる

一割の賃下げで関連子会社へ750人の転籍

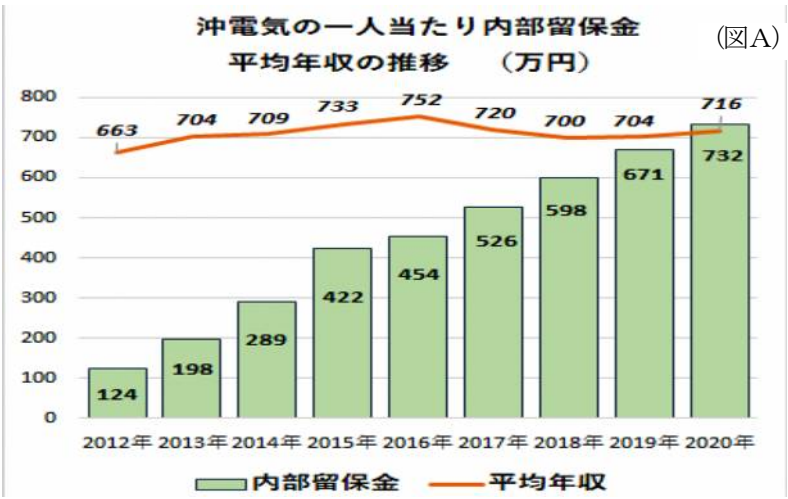
ＯＫＩは昨年12月16日の中央労使協議会で、突然ＥＭＳ（受託生産）埼玉本庄工場・群馬富岡工場の関連子会社への750人超の転籍を提案。生産機能の再編による基盤強化と人件費などコスト改革が狙いとされています。

内容は賃金を1割ダウンさせて、1月から上司面談、2月から人事・総務部との面談で、考える暇を与えず転籍（解雇）を強要するものです。

従来の転籍は、出向期間（3年、5年まで延期可）を設けていました。今回は、労働組合・当事者との十分な協議も無視するやり方で許されるものではありません。

転籍先の賃金制度等の労働条件の詳細も明示せず、21年度中の変更も計画されています。雇用不安・生活不安、企業内格差拡大の懸念が消えません。 少なくても対象者の疑問に答え、転籍しない人の配置を明らかにし、自由意思（**転籍は本人同意がなければできない**）で決められる環境をつくるべきです。

ＯＫＩの内部留保初めて平均賃金を上回る



内部留保金
資本剰余金＋利益剰余金＋退職給与引当金＋貸倒引当金

書空

「核兵器禁止条約」２０２１年１月22日発効

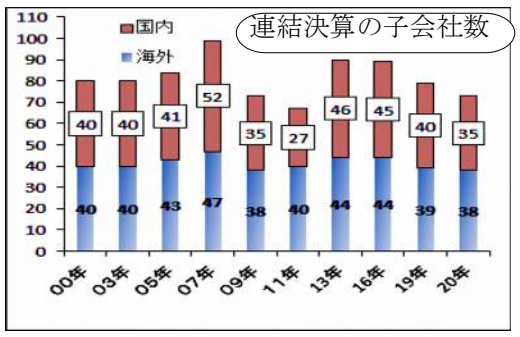
「何十万という死者に思いをはせ、完全廃絶までの道のりを勇気を持って力強く・・・愛おしい死者とともに歩み続けましょう」と被爆者サーロー節子さん

核兵器禁止条約発行を記念して開かれた全国同時イベントに寄せられたメッセージの一文です。原爆の惨禍の体験者として世界各国で証言を続けてきました。サーローさんの「愛おしい死者たち」という言葉に、広島・長崎で原子爆弾により一瞬にして命も日常も奪われた方々の存在を身近に感じられた様な気がしました▼２０１７年３月、国連で続いていた核兵器禁止条約交渉をボイコットした日本政府代表の席に置かれた折り鶴には「あなたがここにいてほしい」と書かれた落胆と非難のメッセージ。同年７月に国連総会でこの条約は採択され、昨年10月24日に発効要件の批准国が50カ国に達し90日後の今年１月22日に発効。核兵器の開発、保有、使用等を禁じ「核兵器は違法」と国際的に認められることになりました▼世論調査では約７割の人が条約に参加することを求めているのに唯一の被爆国である日本の政府はこの条約に署名も批准もしていません。被爆者や平和団体は日本政府に禁止条約への調印、批准を求める署名活動を始めました。被爆者に被爆地に背を向ける政府の態度を変えさせる運動を、世代を超えてさらに強める必要があります。

《沖電気を考える》第１５３回　構造改革

内外の子会社73社すべて連結決算へ

分割・別会社化から一転　統合・合併・吸収が加速



【主な吸収・合併・譲渡 など】

2018年～2020年　合併後の新会社名

■オーケーエンタープライズ⇒沖ウインテックに吸収　■ＯＫＩデータ・インフォテック⇒ＯＫＩデータに吸収　■沖アドバンストコミュニケーション⇒ＯＫＩソフトに吸収　■オービーシー・ワークス⇒ＯＫＩプロアシストに吸収　■ＯＫＩジャイネットサプライ⇒沖電気カスタマアドテックに吸収

海外＝ＯＫＩデータヨーロッパ、ＯＫＩベトナム，オリガミブラジルなど新設、一方で4社を売却、清算　■沖電気カスタマアドテック＋沖ウインテックは合併してＯＫＩクロステックに

■テイー・アイ・イー＋高崎精密＋富岡電子⇒ＯＫＩ富岡マニュファクチャリングに　■エム・エル・サプライ⇒ＯＫＩデータＭＥＳに吸収　■沖電線サービス⇒沖電線に吸収　■ＯＫＩメタルテック＋ＯＫＩテクノパワー⇒ＯＫＩシンフォテックに　■ＯＫＩプロサーブなどの物流部門をドイツのＤＨＬグループに売却

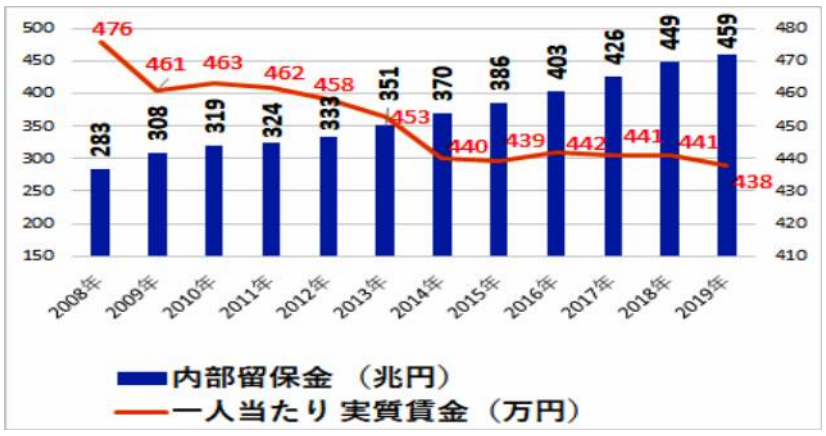
【2021年計画】　事業の吸収合併が続く（※１へ）

■長野沖電気⇒沖電気コミュニケーションシステムズが吸収

■沖プリンテッドサーキッド⇒ＯＫＩサーキットテクノロジーが吸収　◎ＯＫＩデータ（特定子会社）⇒ＯＫＩ本体が吸収

過去１１年間の実態　賃金抑制　法人税負担軽減などの優遇で

大企業の内部留保は1.6倍増の459兆円
労働者に利益還元されず実質賃金は38万円減



大企業の内部留保 連続して最高更新
2019年度も前年比10兆円増加

コロナ禍の今こそ　労働者に還元を

内部留保金：財務省「法人企業統計」から資本金10億円以上の金融・保険業を含む全企業の推移。企業利益から法人税や株主配当を払った利益の累積金額

実質賃金：厚生労働省「毎月勤労統計調査」の実質賃金を国税庁「民間給与実態統計調査」により実額化した数字。本グラフは2018年の年間平均賃金（４４１万円）を起点とした数字。物価変動加味した

リソース（資源）のシフト（変更）

成長戦略の一つに事業のポートフォリオ（構成）の再構築が挙げられています。柱は「海外戦略の抜本見直し」「プリンター事業会社（ＯＫＩデータ）の本社統合」と「メカトロ（ＡＴＭなど）・プリンター・ＥＭＳ（受託生産）の３事業の統合 」の３本です。

既に中国でのＡＴＭ製造は撤退し、１２月に、生産子会社統合／再編案が労働組合に提案されました。１面掲載の富岡・本庄地区の転籍提案にも社員の将来不安が拡大しています。

沖電気の経営計画（２０２３年３月期目標）

ＡＩエッジ技術を成長戦略に
営業利益２００億円　自己資本比率３０％

	２０２０年３月期（実績）	２０２３年３月期（目標）
売上高	４,５７２億円	４,６５０億円
営業利益	１６８億円	２００億円
当期純利益	１４１億円	１２０億円
自己資本	１,０６２億円	１,１５０億円
自己資本比率	28.5%	30%
株主還元	５０円配当/株	３０%以上
自己資本利益率	13.7%	10%

★ＡＩエッジ：クラウド側で行っていた予測をエッジデバイス側（末端の機器）で行うようにしたＡＩ

★自己資本比率：自己資本÷総資本

コロナ対応で活躍するＡＩ

【埼玉・蕨】

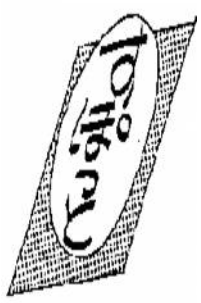
蕨地区へ勤務の方は受付の隣に顔認証システムが設置されて多くの方が気付いていると思います。ここ数年技術トレンドの上位に挙げられているＡＩ技術がコロナ対応でも活躍しています。一部の店舗にも同様のシステムが見られます。

映像から一瞬にして顔の位置を認識しマスクの有無も判断、さらに高精度赤外線センサーで離れた位置からも瞬時に体温を測定し入場可否判定をする優れものです。コロナ収束後も目まぐるしく進歩するＡＩおよびディープラーニング技術の幅広い活躍を期待できます。

いきなりの転籍は認められない

【群馬・富岡】

正月明けの1月13日突然、工場長から「生産体制の見直しについて」説明がされました。内容は、４月１日から富岡工場の社員５５０人がＯＴＭ(沖富岡マニファクチャリング)へ転籍するという計画です。職場では、寝耳に水の話に、大きな不安と怒りが広がっています。組合と協議中にも関わらず上司との面談も始まり、転籍への話もされています。面談してショックを受けている人、若い人の中には、ＯＴＭに転籍するのなら辞めるという声も出ています。「仕事のやる気をなくした」「一割ダウンはとんでもない」「組合はなぜもっと早く情報を知らせてくれなかったのか」「会社は口頭説明だけで資料は何もないのか、不誠実だ」「『モノづくりの職場を元気に』と言うのであれば、机上の生産見直しでなく、現場に足を運べ！」など、会社の掲げているスローガンが呆れる提案になっています。本気で「元気な職場」にするなら、賃金ダウンなど労働条件の引き下げなどできないはずです。提案は再検討すべきです。



あまりにも突然な話に不安だけがつのる

【埼玉・本庄】

富岡工場と同様に、ＥＭＳ本庄工場からＯＪＩＰ（沖ジェイアイピー）へ２０２名の転籍をするという計画が発表されました。転籍まで2・5ヵ月しかありません。「ＪＩＰが１９年前、設立された時は提案から転籍まで４カ月近くあった。対象職場の労働者が要望書を作り連名で組合に提出をし、労働条件も一部改善がされた」「賃金一割ダウンに、若い人は辞める人も出るのでは、でもいまの雇用状況じゃ」「来年度には、賃金制度を変えると会社は言っているらしいからその先がどうなるか」「いまの給料体系が生産現場に合わない、一割ダウンで出向もなく、即転籍というのは生産現場をあまりにも軽く扱っているのではないか」という声もあります。

※１の続き

（２０２１年４月１日統合予定の生産工場）

◎ＯＫＩトラステック＋沖プリンテッドサーキット＋沖サーキットテクノロジー

◎長野沖＋ＯＫＩハイテック＋ＯＫＩ東邦電子＋沖電気コミュニケーションシステムズ

◎埼玉・ＥＭＳ本庄工場＋ＯＫＩジェイアイピー

◎群馬・富岡工場＋ＯＫＩ富岡マニュファクチャリング